

1年社会科 歴史 年間指導計画 (50時間) 2024年度

学期	時限	学習内容・学習活動
----	----	-----------

第1部 歴史のとらえ方と調べ方

第1節 歴史の流れと時代区分		
1 学期	1	絵を活用して、小学校で学んだ内容を取り上げ、歴史を大きく変えた人物や出来事を考察し、時代を区分することの意味や意義を理解する。
	2	西暦、世紀、元号の意味と使い方を理解する。
	3	政治の中心地による時代区分や文化の特徴から名付けられた時代区分があることを理解する。
	4	第1節の振り返りとまとめを行う。

第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり

第1章 古代 古代国家の成立と東アジア SDGs環境		
第1節 人類の登場から文明の発生へ		
1 学期	5	環境の変化とともに、人類はどのように進化してきたのかを文章や資料から読み取り、表または図にまとめる。
	6	文明はどのような地域で誕生し、またその地域ではどのようなものが生まれたのかを、文章や地図資料から読み取り、表にまとめる。
	7	中国に登場した秦や漢ではどのような政治が行われたのか、文章や資料から読み取る。
	8	ギリシャとローマではどのような政治が行われたのか、文章や資料から読み取り、現代の民主政治と異なる点を考える。
	9	世界的な規模で信仰されている宗教はどのように生まれ、広まっていったのか、文章や地図から読み取る。
	10	人類の登場から文明の発生への振り返りと自己評価、東アジアの中の倭の課題設定。
第2節 東アジアの中の倭		
1 学期	11	縄文時代と弥生時代の集落をえがいた想像図を比べて、どのような点に変化し、どのような共通点があるかを読み取り、各時代の特色を考え、疑問があれば追究すべき課題を設定する。
	12	縄文時代から弥生時代にかけて、人々の生活はどのように変化したのか、稲作とかかわらせて考える。
	13	日本列島の各地にあった国々はどのようにしてまとまっていったのか、中国の歴史書が伝えていることなどをもとに考える。
	14	東アジアの中の倭の振り返りと自己評価、中国にならった国家づくりの課題設定をする。
第3節 中国にならった国家づくり		
2 学期	15	ヤマト王権はどのようにして勢力を拡大していったのか、鉄や前方後円墳が各地に広まった理由をもとに考える。
	16	縄文時代や弥生時代の集落などと奈良時代の国分寺建設のようすをえがいた想像図を比べて、どのような点に変化し、どのような共通点があるのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題を設定する。
	17	蘇我氏や聖徳太子は、どのような国をつくらうとしたのか、蘇我氏と聖徳太子が協力して行った政策などをもとに考える。
	18	東アジア諸国との関係のなかで、倭（日本）はどのような改革を進めたのか、天智天皇と天武天皇が行った政策などを文章や資料から読み取ってまとめる。

	19	奈良時代の土地制度、税制度は人々の生活にどのような影響を与えたのか、資料などをもとに考える。
	20	奈良時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか、大陸の影響と文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。
	21	中国にならった国家づくりの振り返りと自己評価、展開する天皇・貴族の政治の課題設定をする。
第4節 展開する天皇・貴族の政治		
2学期	22	平安時代（平安京）における人々や貴族の生活の様子をえがいた想像図を見て、奈良時代（平城京）と比べてどのような点が変わり、どのような共通点があるのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題を設定する。
	22	平安京に都を移したのち、朝廷の政治にどのような変化が見られるようになり、なぜ藤原氏が政治の実権を握ることができたのか、文章や系図などをもとに考える。
	23	平安時代にはどのような特色をもった新しい文学や仏教が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。
	24	古代の日本で国が成立するための共通点や必要なことを考え、最も重要なものを選び、その理由とともに発表し合う。古代とはどのような時代か、自分の言葉で表現したり、意見交換を行ったりする。
	25	展開する天皇・貴族の政治の振り返りと自己評価、武士の世の始まりの課題設定をする。
第2章 中世 武家政権の成長と東アジア SDGs 環境、交流、人権		
第1節 武士の世の始まり(ICT)		
2学期	26	鎌倉時代の農村のようすをえがいた想像図を見て平安時代と比べて、どのような点が変わりどのような共通点があったのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題を設定する。
	27	武士はどのようにして現れ、都や地方でどのような役割を果たし、どのように成長していったのかを、文章や資料などから読み取る。
	28	平氏はどのような出来事をきっかけにして実権をにぎり、どのような政治を行い、なぜ滅ぼされたのか、予想を立てたり文章や資料などから読み取ったりする。
	29	鎌倉を中心とした武家政権は、どのような特徴をもっていたのか、御家人の視点から考えたりまとめたりする。
	30	鎌倉時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか、武家の政治や新しい仏教の動きに着目させ、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。
	31	武士の世の始まりの振り返りと自己評価、武家政権の内と外の課題設定をする。
第2節 武家政権の内と外		
3学期	32	蒙古襲来はどのような戦いで、幕府と御家人の関係にどのような影響を与えたのか、文章や絵画資料などから読み取ったり考えたりする。
	33	鎌倉幕府はどのようにしてほろび、その後、政治はどのように変化していったのか、守護と守護大名の違いなどに着目し、資料などから読み取ったり考えたりする。
3学期	34	室町幕府は東アジア諸国とどのような関係を築いたのか、文章や地図などをもとにして、図を用いてまとめる。
	35	琉球王国やアイヌの人々は周辺諸国とどのような関係を築いていたのか、資料や地図などをもとにして、図を用いてまとめる。
	36	武家政権の内と外の振り返りと自己評価、人々の結びつきが強まる社会の課題設定をする。
第3節 人々の結びつきが強まる社会		
3学期	37	鎌倉・室町時代において、産業と交通はどのように発達したのか、農業生産力向上のための工夫やさまざまな職業の登場、商業、運送業などの発達に着目させ、絵画資料などから読み取ってまとめる。

38	応仁の乱をきっかけに各地でどのような勢力が新たに力をつけたのか、地図などをもとに調べたりまとめたりする。
39	室町時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。
40	中世までに登場した身分や職業を武士と庶民のまとまりに分けて、それぞれのタテとヨコの関係図をつくり、どのような結びつきがなぜ強められたかを考え、話し合う。 中世とはどのような時代か、自分の言葉で表現したり意見交換を行ったりする。
41	人々の結びつきが強まる社会の振り返りと自己評価、大航海によって結びつく世界の課題設定をする。

第3章 近世 武家政権の展開と世界の動き

第1節 大航海によって結び付く世界

3 学 期	42	イスラム勢力の広がりによって、キリスト教中心のヨーロッパはどのように変化したのか、十字軍やルネサンスをもとにして考える。
	43	新航路を開拓したヨーロッパの国々によって、世界はどのように変化したのか、地図などの資料をもとに考え、ヨーロッパとアジアや南北アメリカとの関係を図でまとめる。
	44	ヨーロッパとの貿易や交流は、戦国時代の日本にどのような影響を与えたのか、鉄砲とキリスト教に着目して考える。
	45	大航海によって結びつく世界の振り返りと自己評価、戦乱から全国統一への課題設定をする。

第2節 戦乱から全国統一へ

3 学 期	46	安土桃山時代の町づくりが行われているようすをえがいた想像図を見て、鎌倉・室町時代と比べて、どのような点が変わり、どのような共通点があったのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題を設定する。
	47	織田信長はどのようにして全国を統一していったのか、絵画資料や地図、法令などの資料をもとに読み取る。
	48	豊臣秀吉が国内と海外に対して行った政策はどのような影響を残したのか、絵画資料や地図、法令などの資料をもとに考える。
	49	織田信長や豊臣秀吉が登場した時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。
	50	戦乱から全国統一への振り返りと自己評価、武士による全国支配の完成の課題設定をする。